



きらりNet

現場実習を終え 課題が明確に！

高等部では、前期(6～7月)と後期(11月)に現場実習を行っています。その際、事業所に評価票の記入をお願いしています。評価票には、「一般就労・就労継続支援A型」、「就労継続支援B型」、「生活介護」があり、各項目についてA～Dで評価します。また、「生活介護」については、項目ごとにすべて文章で記述する評価票もあります。

ここでは、就労継続支援B型の評価票の一部を紹介します。「作業の理解・習慣」「作業態度」「作業遂行能力」「社会性・態度」の4つの観点があり、さらに細かい下位項目があります。例として「社会性・態度」について挙げました。

現場実習評価票



A－本人のセールスポイントとして評価できる B－普通、そのままでも特に課題とはならない
C－実習に支障はないがもう少し努力してほしい D－実習の際に支障となり、改善が必要である

評価項目		A	B	C	D	特記事項
～ 略 ～						
社会性・態度	自分からあいさつをする。					
	返事をはっきりとする。					
	適切な言葉遣いをする。					
	他人の迷惑になることはしない。					
	迷惑をかけた時失敗したりしたときに謝る。					
	集団から逸脱しないで行動する。					
	周囲の人との会話に参加する。					

特記事項欄に記載されていた内容

課題が明確になり目標が具体化

作業の理解・習慣

「分からないことに対しては分かるまで質問しましょう。」
「報告・連絡・相談は大切なことですのできちんとできるように心掛けてください。」

作業態度

「意欲があり、作業中よそ見は一切見られず集中して取り組んでいます。」

作業遂行能力

「午後になると少し疲れが見えてきていました。しかし、5日間体調を崩すことなく継続することができました。」

社会性・態度

「誰に対しても明るく、素直な態度で接することができます。」
「挨拶や自ら声を掛けることはあまり見られず、消極的でした。」

これら具体的に記載された内容や各項目のA～Dの評価は大変貴重なものです。この客観的な評価は、自己の課題を明確にして目標を設定するのに役立っています。本人、保護者、担任がともに課題に向き合い、日々意識して取り組んでいます。

注目!

連載 きらりの授業 その⑧

高等部 進路学習



各教科等をお合わせた指導を主とする学習グループ、教科を主とする学習グループの授業です。

「総合的な学習の時間」に『先輩の話を聞こう』という題材で進路学習を行いました。社会人の先輩として視覚支援学校を卒業後、公務員として働いている方、昨年度普通高校を卒業し、公務員になった方にお話をさせていただきました。社会人になって大変なこと、うれしいこと、お給料の使い道、休日の過ごし方、高校時代にやっておくべきこと、後輩たちへのアドバイスなど、体験を基に、貴重なお話をたくさんいただきました。質問コーナーでは、高校時代の思い出、初任給で買った物、などの質問が出されました。

事後の感想には「公務員になるために1日8時間も勉強していたなんてすごい。私も学習時間を増やしたい。」「高校時代の友達は一生の友達だと聞いた。卒業後も連絡を取り合いたい。」「自分の給料で買った物は、喜びも格別らしい。何を買おうかな。」などがありました。

卒業後はどんな生活になるのか、今何を頑張ればいいのかなど、生徒たちは不安を抱えています。その不安の解消に少しでも役立ってほしいと考え実施しましたが、私たちが思うより、生徒たちは自分の考えをしっかりと持っていることが分かりました。社会に出たときに、「あのとき聞いたことはこのことだったんだ」と振り返れるよう、心に留めておいて欲しいと思います。

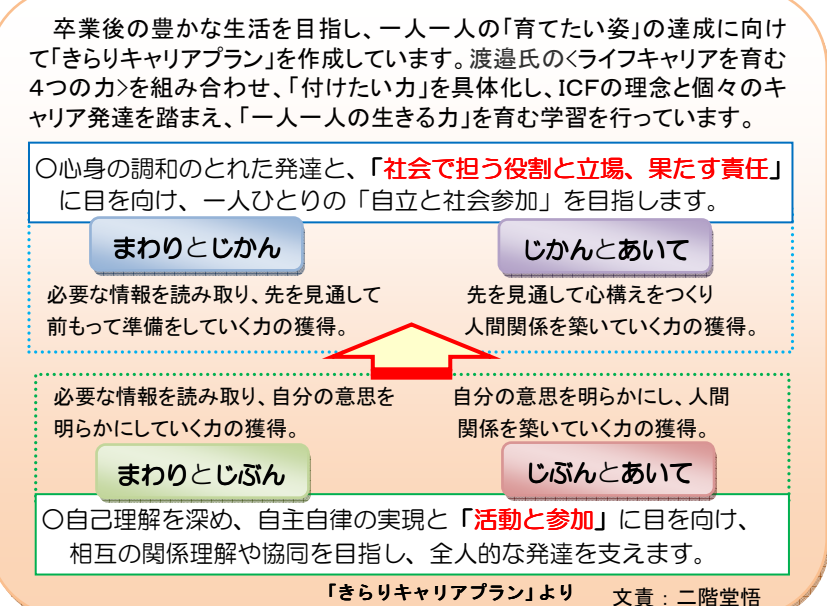


先輩の話を真剣に聞き、積極的に質問をしました。

教育専門監のコーナー 「生きる力を育む教育」



〈生きる力を育む4つの力〉
(渡邊昭宏 自立活動の授業 de ライフキャリアより)
『つけるべきは「暮らす力」「楽しむ力」、つまりは、人として「生きる力(ライフキャリア)」なのです。』



秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 伊藤 敏博 地域支援部 佐藤 忠浩
住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127
E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp
電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575



「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。
<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>